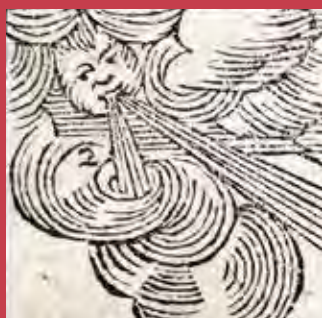


国立国会図書館

# 国際子ども図書館

International Library of Children's Literature

子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！



# 「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！」

という理念のもと国立国会図書館国際子ども図書館は設立されました。  
国立国会図書館法に基づき、国内外の児童書とその関連資料に関する図書館サービスを国際的な連携のもとに行う国立の児童書専門図書館です。

国際子ども図書館は、2021（令和3）年3月に「国際子ども図書館基本計画 2021－2025」を策定し、国際子ども図書館の使命と基本的役割を次のように定め、活動しています。

## 使命

全ての子どもにとって、読書活動は、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」(子どもの読書活動の推進に関する法律)です。国際子ども図書館は、デジタル化が進展する社会における子どもや図書館を取り巻く環境の変化に応じつつ、国内外の豊富な資料と情報資源を活用し、子どもの本に関わる活動や調査研究を支援することを使命としています。

## 役割

国際子ども図書館は、次の3つの基本的な役割を果たします。



### 児童書専門図書館 としての役割

国内外の児童書及び関連資料を収集・保存・提供するとともに、児童書に関する専門的な情報を広く発信することにより、児童書や子どもの読書に関わる多様な活動を支援します。



### 子どもと本の ふれあいの場 としての役割

国際子ども図書館だけでなく、インターネットや身近な図書館を通して、全ての子どもが本とふれあい、図書館や読書に親しむきっかけを提供します。



### 子どもの本の ミュージアム としての役割

本のミュージアムに加え、上野に立地する歴史的建造物という特色やインターネットで提供する電子展示会をいかし、総合的に文化に親しむ場としての図書館の姿を実現します。



## 児童書専門図書館としての役割

### 蔵書の充実

- ・国際子ども図書館は、納本制度に基づき日本国内の児童書(おおむね18歳以下の方が主たる利用者として想定される資料)や教科書(2002(平成14)年度以降)を幅広く収集し、保存しています。また、購入、国際交換や寄贈によって、約160の国と地域の児童書や関連資料を収集し、保存しています。
- ・読書活動や調査研究を支援するため、所蔵資料のデジタル化を促進しています。

#### 特色ある資料・コレクション

- ・池田宣政(のぶまさ)コレクション
- ・イングラムコレクション
- ・プランゲ文庫児童書コレクション(デジタルコレクション)

### 児童書に関する情報提供

- ・国立国会図書館サーチでは、児童書を所蔵する主要類縁機関の所蔵資料も一元的に検索することができます。
- ・あらすじ情報や海外で外国語に翻訳刊行された日本の児童書に関する情報等、書誌データへの付加情報の拡充を行っています。
- ・児童書等に関するレファレンスの経験に基づいた専門的な知見をいかし、児童書等に関する情報の調べ方などを紹介しています。



国立国会図書館サーチ  
<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>



リサーチ・ナビ  
<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/>

### 児童サービス関係者に対する支援

- ・国内外の児童文学賞等の児童書に関する情報を発信しています。
- ・研修及び交流会を開催し、専門性の向上に資するとともに交流・情報交換の場を提供しています。広く全国の児童サービス関係者が受講できるよう、オンラインサービスを利用した研修を実施しています。
- ・児童書や児童サービスに関する基礎的な研修に講師を派遣しています。
- ・国内外の関連機関と連携して行う研修員等の受入れにより、人材育成を支援しています。



子どもの読書活動推進  
<https://www.kodomo.go.jp/promote/index.html>

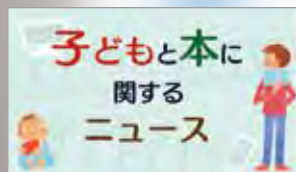
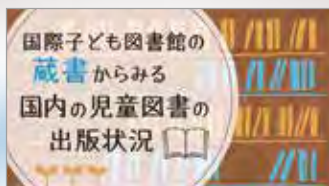


メールマガジン  
<https://www.kodomo.go.jp/about/mailmagazine/index.html>

### 関連機関との連携及び広報

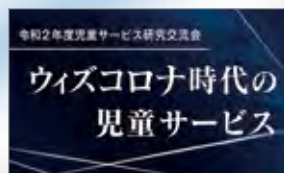
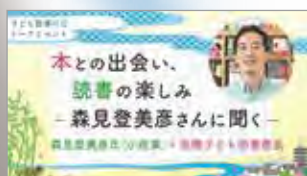
- ・国際図書館連盟(IFLA)年次大会、国際児童図書評議会(IBBY)世界大会等国际会議に参加しています。
- ・関連機関と連携して展示会や講演会等催物を開催しています。
- ・上野地区及び周辺の文化・教育機関等と連携して各種協力事業を行っています。





## 児童書専門図書館としての役割

- ▶ 児童書を収集・保存・提供し、専門的な情報を発信。



子ども  
とし

- ▶ 展示会とおし文化に







## 子どもと本のふれあいの場としての役割

- ▶ 子どもが本とふれあい、図書館や読書に親しむきっかけを提供。



## 子どもの本のミュージアムとしての役割

- 、電子展示会、歴史的建造物を活用して総合的に子どもと本のふれあいの場を提供。



過去に実施した展示会

<https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/backnumber.html>



過去に実施したイベント

<https://www.kodomo.go.jp/event/event/backnumber.html>





## 子どもと本のふれあいの場としての役割

### 子どもを読書に誘うための情報発信

- ・ 国立国会図書館キッズページ  
子どもに国立国会図書館を知ってもらうための窓口です。
- ・ 国際子ども図書館子どもOPAC  
子どもが自分自身で資料の検索をすることができます。
- ・ しらべる・まなぶ・よむ  
小学生向けの読書・学習支援のためのコンテンツです。
- ・ 調べる・学ぶ・読む  
中高生向けの読書・学習支援のためのコンテンツです。



国立国会図書館キッズページ  
<https://www.kodomo.go.jp/kids/>



国際子ども図書館子どもOPAC  
<https://kidsopac.ndl.go.jp/>



しらべる・まなぶ・よむ  
<https://www.kodomo.go.jp/guide/kids/>



調べる・学ぶ・読む  
<https://www.kodomo.go.jp/guide/ya/>

### 身近な図書館における読書活動への支援

- ・ 季節やテーマに応じた小展示の資料リストやイベントで紹介した資料をホームページに掲載しています。
- ・ 学校図書館に対する支援の一環として、外国語の図書を含む児童書等を貸し出す「学校図書館セット貸出し」を行っています。
- ・ IFLA 児童・ヤングアダルト図書館分科会の「絵本で世界を知ろう」プログラムによる展示会セットを公共図書館等に貸し出しています。

### 国際子ども図書館における実践

- ・ 小学生以下向けの子どものへや・世界を知るへや、中高生向けの調べものの部屋があります。
- ・ 乳幼児向けのわらべうたと絵本の会、4歳から中学生までの子ども向けのおはなし会、中高生向けのイベントを行っています。
- ・ 年齢層別の見学や、図書館での調べものを短時間で体験できる中高生向けの調べもの体験プログラムを行っています。
- ・ 特別な支援や配慮を必要とする子どもへのサービスを行い、障害者用資料及び障害を理解するための資料を展示しています。



子ども向け見学



## 子どもの本のミュージアムとしての役割

### 展示会

- ・ 多角的で魅力的な企画展示、豊富に所蔵する外国の児童書を活用した展示を行っています。各資料室でも、随時小展示を行っています。
- ・ 児童書の持つ魅力を発信する展示や日本の児童書を海外に向けて紹介する展示等を、誰もがアクセスできる電子展示会として提供しています。

### 文化に親しむ場としての図書館

- ・ 歴史的建造物としての建物の魅力や上野地区及び周辺の文化・教育機関との連携をいかし、子どもの本と共に音楽や美術等の文化に親しむ場としています。
- ・ 国際子ども図書館への理解を深めるために、国際子ども図書館の建築や歴史に関する企画展示を開催し、歴史を共有する場として活用しています。いつでもどこからでも国際子ども図書館の建物を探検できる VR 映像や動画もあります。



東京文化会館との共催「子どものための音楽会」

## 国際子ども図書館のあゆみ

### 帝国図書館から国際子ども図書館へ

国際子ども図書館の建物は、1906(明治39)年に帝国図書館として建てられ、1929(昭和4)年に増築された明治期ルネサンス様式の建物を保存・再利用したものです。

戦後、帝国図書館は国立図書館と名称が変わり、1948(昭和23)年に国立国会図書館が創設され、その支部図書館となつてからは、1998(平成10)年まで支部上野図書館の施設として使用されてきました。2000(平成12)年、国立の図書館としては初の児童書専門図書館として開館しました。



年表	1995(平成7)年11月	国立国会図書館に設置する児童書等の利用に係る施設に関する調査会答申
	1996(平成8)年5月	「国際子ども図書館基本計画」を策定
	2000(平成12)年1月	国際子ども図書館設立
	2000(平成12)年5月	国際子ども図書館第一期開館
	2002(平成14)年5月	国際子ども図書館全面開館
	2008(平成20)年10月	来館者数100万人突破
	2011(平成23)年3月	「国際子ども図書館 第2次基本計画」を策定
	2015(平成27)年9月	国際子ども図書館アーチ棟開館
	2016(平成28)年3月	国際子ども図書館全面リニューアル
	2017(平成29)年8月	来館者数200万人突破
	2021(令和3)年3月	「国際子ども図書館基本計画2021-2025」を策定

### 数字で見る国際子ども図書館 2023年度

所蔵資料数 (2024年3月31日現在)	図書(和漢書)	385,234冊
	図書(洋書)	99,288冊
	雑誌(国内)	2,102タイトル
	雑誌(海外)	192タイトル
開館日		286日
来館者統計		130,439人
	うち中学生以下	24,804人
資料出納点数		31,641点
複写処理件数		7,170件
レファレンス	文書レファレンス	117件
	電話レファレンス うち18歳未満	941件 1件
	口頭レファレンス うち18歳未満	11,479件 1,068件
資料館外貸出	行政・司法相互貸出し	9点
	図書館間貸出し	188点
	学校図書館等児童書貸出し	7,256点
	展示会出品資料貸出し	1,825点
見学件数		182件
ホームページ統計	トップページアクセス数(日・英)	784,733件
建物	敷地面積	約7,733平方メートル
	レンガ棟 建物延べ面積	約6,671平方メートル
	書庫収蔵能力	約40万冊
	アーチ棟 建物延べ面積	約6,090平方メートル
	書庫収蔵能力	約65万冊





**レンガ棟** 1906(明治39)年に帝国図書館として建設された建物を保存・再利用して2000(平成12)年に開館しました。ルネサンス様式の洋風建築として、東京都の歴史的建造物に選定されています。



**アーチ棟** 中庭をはさんでレンガ棟の向かい側に2015(平成27)年に建設されました。全体が緩やかに弧を描いています。



**子どものへや**  
主に小学生以下の子どもたちのための児童書を集めています。また時節にあわせたテーマの小展示を行っています。  
/ レンガ棟1階



**児童書研究資料室**  
児童書に関する調査研究のための資料室です。入室には手続きが必要です。  
/ アーチ棟2階



**世界を知るへや**  
世界の国や地域の地理、歴史、文化等を紹介した児童書、外国語の絵本や読み物等があります。  
/ レンガ棟1階



**大階段**  
明治の趣を今に伝える階段の手すりや、扉、シャンデリアが見られます。



**児童書ギャラリー**  
明治から現代までの日本の子どもの本の歩みをたどる展示室です。  
/ レンガ棟2階



**本のミュージアム**  
子どもの本に関する展示会を開催します。  
/ レンガ棟3階



**調べものの部屋**  
中高生の調べものに役立つ資料があります。調べものの体験プログラム(事前予約制)も実施しています。  
/ レンガ棟2階



**ホール**  
音楽会等のイベントや国際子ども図書館を紹介する展示を行います。  
/ レンガ棟3階



**休憩・飲食・授乳スペース**  
小さな子どもと一緒に一休みできるスペースや、専用の授乳スペースがあります。  
/ レンガ棟1階



## 国立国会図書館 国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49

**T E L** 03-3827-2053(代)

**F A X** 03-3827-2043

**録音案内** 03-3827-2069

**ホームページ** <https://www.kodomo.go.jp/>

**メールマガジン** ホームページから登録できます。

**開館時間** 午前9時30分から午後5時まで

**休館日** 月曜日  
国民の祝日・休日  
(5月5日こどもの日は開館)  
年末年始  
資料整理休館日(毎月第3水曜日)  
JR上野駅公園口又は  
JR鶯谷駅南口から徒歩10分